

平成27年度開催結果

第3回 幸田町総合戦略推進委員会 結果

○日 時:平成 28 年 3 月 3 日(木)午後 1 時 30 分～4 時

○場 所:幸田町役場 4 階 第 3 第 4 委員会室

○出席者:委員及びオブザーバーの計 14 人、町事務局等 7 人

○協議内容と主な意見等

「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終案について、予定の 2 時間を 30 分ほど超過するほど、委員から活発なご意見をいただきました。

●全体について

- ・町が目指す方向性を踏まえた人口推計を行い、中身も具体的でよくできていると思う。「第 3 子が安心して産める」のオリジナルな表現もよい
- ・非常に積極的かつ中身のある戦略構成という印象を受けた
- ・町民PRのためにも、専門用語の注釈がほしい

●仕事を育てる

- ・自動走行について、製造業の育成・支援の視点や PR も必要である
- ・遊休化した山間部の農地の対応が課題である
- ・女性に人気の抗酸化イチゴの実現に向け、慎重に進めてほしい
- ・筆書きに関するコメントが弱い気がする
- ・低温プラズマの他分野への応用や低温プラズマ以外の技術の応用も視野に入れて取り組んでほしい
- ・農商工連携等による付加価値をつけることで数値目標が達成されると思う
- ・独居高齢者や下宿生など、増加する単身世帯のニーズに対応したビジネス展開も考えられる

●人の流れを育てる

- ・相見など、住みやすさのPRが必要
- ・交流人口を増やす取り組みとして、本光寺等の観光資源や幸田憩いの農園の活用も考えられる
- ・産業としての農業だけでなく、体験農業や農家レストランなどの観光面や高齢者や女性の生きがい・健康増進に寄与する農業としての取り組みにより、医療費や社会保障関連費の削減につなげたい

●子どもを育てる

- ・未満児保育の充実をお願いしたい
- ・出会いの場として、現在も行っている婚活パーティーを継続したい

●地域を育てる

・高齢化しているファミリーサポートセンターの援助会員の若返りとはグループとのつながりが必要

・身寄りのない転入者にとって女性の会は有効に機能しているが、会員が増えないのが悩みである

・市民農園、体験農園、農家レストランなどを第3の場所とすることがストレス社会の解消につながる

・生態系調査による外来種を考慮した自然環境保全も考えられる

など、全体の評価と、具体的な施策等に関する様々な意見をいただきましたので、これらを踏まえ、「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終の取りまとめを3月末までに行います。

策定後、改めてホームページ等で公表させていただきますので、よろしくお願いいたします。